

2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月9日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東
 コード番号 7603 URL https://www.mac-house.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北原 久巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼法務室長 (氏名) 有賀 憲 (TEL) 03-3316-1911
 四半期報告書提出予定日 2020年10月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	9,255	△30.7	△744	—	△719	—	△1,021	—
2020年2月期第2四半期	13,364	△2.5	△535	—	△501	—	△792	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	△66.33	—
2020年2月期第2四半期	△51.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	13,703	6,962	50.6
2020年2月期	16,128	8,138	50.3

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 6,935百万円 2020年2月期 8,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年2月期	—	0.00			
2021年2月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,448	△16.3	△975	—	△944	—	△1,480	—	△96.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年2月期2Q	15,597,638株	2020年2月期	15,597,638株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年2月期2Q	192,494株	2020年2月期	192,394株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年2月期2Q	15,405,214株	2020年2月期2Q	15,405,247株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 「参考資料」	9
商品別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)における我が国の経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が悪化し、先行き不透明な状況となりました。

当社が属するカジュアルウェア業界におきましても、商業施設の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛による個人消費の落ち込み等、経営環境は厳しい状況となりました。

かかる状況におきまして、当社は、緊急事態宣言が解除される5月下旬まで一部店舗で臨時休業、営業時間短縮を実施しました。緊急事態宣言解除後は、営業時間短縮を継続しつつ全店舗で営業を再開し、お客様と従業員の安全を最優先に考え、マスクの着用、飛沫感染防止シート及び除菌剤の設置、ソーシャルディスタンスの確保等、感染症拡大防止に努めながら、「多くのお客様に信頼され、魅力あるお店」づくりをスローガンとして営業に励んでまいりました。

当第2四半期累計期間における販売概況としては、関東地区、立地においてはSC(ショッピングセンター)を中心に客数が大幅に減少しました。販促施策としては、紙媒体のチラシ投函を削減し、インスタプロモーション及びモバイル会員様向けのプロモーションに注力しました。8月末のモバイル会員様は387万人となりました。商品動向としては、7月の長梅雨や8月の旅行・帰省などの外出需要の減少により、季節商品の販売が想定を下回る進捗となりました。一方で、来店されるお客様の多数を占めている女性向け商品の新ブランド「Howdy Marie(ハウディーマリー)」などがヒットしました。また、ウィズコロナのアイテムとして、ホームウェアや冷感マスクが好調に推移しました。

店舗数の推移につきましては、9店舗の出店、13店舗の閉鎖により、当第2四半期末の店舗数が、367店舗(前年同四半期比14店舗減)となりました。

利益面につきましては、売上高が低水準となったことにより、売上総利益も大幅な減少となりましたが、売上総利益率は商品供給リードタイム短縮による仕入コントロール、チラシ投函の削減による売価変更抑制により、前年同四半期比2.0ポイント改善しました。

経費面におきましては、店舗数の減少に加え、広告宣伝費の大幅削減、営業時間短縮による勤務シフト調整による人件費の削減等により、前年を下回り、販売費及び一般管理費は前年同四半期比22.6%減となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は9,255百万円(前年同四半期比30.7%減)となりました。また、営業損失は744百万円(前年同四半期は営業損失535百万円)、経常損失は719百万円(前年同四半期は経常損失501百万円)、四半期純損失は、収益性が悪化していると認識した店舗及び共用資産に関して減損損失として148百万円を計上し、1,021百万円(前年同四半期は四半期純損失792百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2,424百万円減少し、13,703百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2,264百万円減少し、9,398百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,837百万円、商品が479百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ160百万円減少し、4,305百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が97百万円、建物附属設備が33百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ1,248百万円減少し、6,741百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ1,147百万円減少し、4,049百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が832百万円、未払金が176百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ100百万円減少し、2,692百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ1,176百万円減少し、6,962百万円となりました。

これは主に、四半期純損失を1,021百万円、剰余金の配当154百万円を行ったこと等によるものであります。

総資産に占める自己資本比率は50.6%となり前事業年度末に比べ0.3ポイント増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月10日付「2021年2月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化することで、当社の経営に影響を及ぼすリスクがありますが、当社の手元流動性に関して、2021年2月期第2四半期末時点において、43億円の現金及び預金を保有する一方、銀行借入金は無く、十分な手元流動性を確保しております。今後も、経費抑制や在庫水準のコントロールによりキャッシュ・フロー管理を徹底し、十分な手元流動性の確保に努めてまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,161	4,324
売掛金	498	554
商品	4,723	4,243
前払費用	229	229
その他	48	46
流動資産合計	11,662	9,398
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	71	68
建物附属設備(純額)	815	781
構築物(純額)	14	13
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	167	184
土地	173	173
その他	17	—
有形固定資産合計	1,260	1,221
無形固定資産	106	106
投資その他の資産		
長期前払費用	80	71
敷金及び保証金	3,004	2,906
その他	17	2
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,099	2,977
固定資産合計	4,465	4,305
資産合計	16,128	13,703

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,555	1,722
電子記録債務	1,152	1,049
ファクタリング債務	149	79
未払金	250	74
未払法人税等	139	122
未払費用	563	525
賞与引当金	70	45
ポイント引当金	20	8
店舗閉鎖損失引当金	21	98
資産除去債務	24	88
その他	247	233
流動負債合計	5,196	4,049
固定負債		
退職給付引当金	1,638	1,657
転貸損失引当金	109	99
長期預り保証金	166	156
資産除去債務	733	673
繰延税金負債	61	51
その他	83	53
固定負債合計	2,792	2,692
負債合計	7,989	6,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	1,307	131
自己株式	△113	△113
株主資本合計	8,111	6,935
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	0	△0
評価・換算差額等合計	0	△0
新株予約権	26	26
純資産合計	8,138	6,962
負債純資産合計	16,128	13,703

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	13,364	9,255
売上原価	7,042	4,693
売上総利益	6,321	4,562
販売費及び一般管理費	6,856	5,307
営業損失(△)	△535	△744
営業外収益		
受取利息	2	1
受取家賃	152	147
その他	29	49
営業外収益合計	184	197
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸費用	135	133
店舗休止費用	—	20
その他	14	17
営業外費用合計	150	172
経常損失(△)	△501	△719
特別損失		
固定資産除却損	7	5
減損損失	194	148
店舗閉鎖損失引当金繰入額	14	76
特別損失合計	215	231
税引前四半期純損失(△)	△716	△950
法人税、住民税及び事業税	80	80
法人税等調整額	△3	△9
法人税等合計	76	71
四半期純損失(△)	△792	△1,021

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△716	△950
減価償却費	154	111
減損損失	194	148
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1	19
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	△25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△19	△11
受取利息及び受取配当金	△2	△1
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△8	△9
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△18	76
リース資産減損勘定の増減額(△は減少)	△0	△0
支払利息	0	0
賃借料との相殺による保証金返還額	48	37
売上債権の増減額(△は増加)	△464	△55
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,442	479
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,266	△953
固定資産除却損	7	5
未払消費税等の増減額(△は減少)	33	40
その他	154	△327
小計	△453	△1,415
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△84	△85
法人税等の還付額	16	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△522	△1,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△145	△171
無形固定資産の取得による支出	△1	△7
敷金及び保証金の差入による支出	△6	△39
敷金及び保証金の回収による収入	168	112
その他	△37	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△153	△154
リース債務の返済による支出	△34	△34
割賦債務の返済による支出	△2	△2
ストックオプションの行使による収入	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190	△191
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△734	△1,837
現金及び現金同等物の期首残高	6,203	6,161
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,468	4,324

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響は、経済活動の回復までに相応の時間を要するものと思われま。現時点で入手可能な情報をもとに、当第2四半期会計期間における会計上の見積もり（固定資産の減損会計の適用等）については、当事業年度末に向けて新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に縮小していくことを前提とし判断しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年8月31日）

当社は衣料品等小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同四半期比	増減
		自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	自 2020年3月1日 至 2020年8月31日		
メンズトップス		3,493百万円	2,546百万円	72.9%	△947百万円
メンズボトムス		2,766百万円	1,862百万円	67.3%	△904百万円
レディーストップス		1,656百万円	1,425百万円	86.1%	△230百万円
レディースボトムス		1,581百万円	1,019百万円	64.5%	△561百万円
キッズ		1,430百万円	1,098百万円	76.8%	△331百万円
その他		2,435百万円	1,303百万円	53.5%	△1,132百万円
合計		13,364百万円	9,255百万円	69.3%	△4,108百万円

(注) 「その他」はインナー・レッグ、雑貨等であります。